

区立幼稚園の適正配置について

1 背景

区における共働き世帯の増加や幼児教育無償化などの社会情勢の変化により、保育需要が高まる一方で、区立幼稚園の幼児数は減少し続け、令和7年度は定員に対する充足率は25%まで減少している。しかしながら、幼稚園では、小学校就学に向けて円滑な接続をするため、家庭ではできない集団教育を適切に行う必要がある。幼児数が減少している現況下において、各園で適切な集団教育を行うため、区立幼稚園の適正配置を行う。

2 適正配置

現時点での幼児数や、通園の利便性を踏まえた地域バランスを考慮し、柳島幼稚園及び菊川幼稚園を段階的に廃止する。

3 廃止スケジュール

(1) 柳島幼稚園

令和7年度末で廃止する。

(2) 菊川幼稚園

令和8年度の新4歳児学級の募集をもって募集を停止する。当該幼児の令和9年度末の卒園をもって廃止する。ただし、令和8年度に新4歳児学級を編制しなかった場合は、令和8年度末で廃止する。

4 今後の区立幼稚園の運営

今後も継続して区立幼稚園を運営していくため、引き続きインクルーシブ教育の充実を図るとともに、先進教育の研究・実践など、教育内容の創意工夫を行い、小学校に円滑に接続するための、質の高い幼児教育を実施していく。また、区立幼稚園の教育内容や魅力を積極的に発信し、適切な集団教育を行うために必要な幼児数の確保に努めていく。